

「とやま新幹線延伸戦略（仮称）」（案）に対する意見の概要及び県の考え方

番号	意見の概要	県の考え方
1	<p>北陸新幹線の延伸に伴い、あくまでも人口増対策に繋がる目標を先ず掲げたい。そもそも、人口が減っては困るので、少なくとも現状維持、できれば増やす目標を掲げたい。</p> <p>そのための施策として、日本企業の海外工場が国内に工場を再設置する流れを掴むことに加え、富山県や北陸という単位での地産地消費力の確保をベースとした企業誘致、企業事業拡充を検討・実施してほしい。</p> <p>具体的には、送配電会社設立を契機に、同社の蓄電機能に、再生可能エネルギー普及を目指してスタートしている事業（小水力、地熱、森林未利用材対策、太陽光、風力、水素）を候補とし可能な事業から組み込んでいく。着実に現実的な進捗を行う柔軟な送配電会社を軸とした組織で具体策を構築すべき。</p>	<p>県では、「富山県人口ビジョン」に示す人口の将来展望を見据え、人口減少を克服し、本県の特徴、強みを活かした持続可能で活力ある富山県の未来を創造するため、令和2年3月に「第2期とやま未来創生戦略」を策定したところです。</p> <p>第2期戦略の策定にあたっては、北陸新幹線敦賀延伸を見据えた取組みといった分野横断的な観点を取り入れるとともに、「自然減に歯止めをかける」「社会増への転換をめざす」など4つの基本目標の達成に向け、地方創生・人口減少対策の推進という観点から、企業立地等の促進や環境・エネルギー産業の育成なども含め、各種施策に取り組んでいくこととしています。いただいたご意見も参考にしつつ、今後の施策の充実に努めてまいります。</p>
2	<p>(P3)</p> <p>「富山県の『良さ』『強み』を活かす」の中で、「豊かで美しい自然環境、そこで育まれた良質な水と新鮮でおいしい食材」との記載があるが、豊かで美しい自然環境に「一級品の山、川、海が唯一揃う富山県」と入れたい。</p>	<p>ご提案の趣旨を踏まえ、記載内容の充実を図ります。</p>
3	<p>(P3)</p> <p>「総合計画や他の計画等との整合性を確保」の中で、とやま未来創生戦略の記載まではあるが、SDGs未来都市に関し、富山県では、環日本海地域をリードする環境・エネルギー先端県づくりとある。環境で共通項があり、SDGs未来都市の記載を入れ、整合性を図るべき。</p>	<p>「戦略策定の背景」の中で、近年の社会情勢の変化として、「SDGsのさらなる推進」について記載しています（P2）。</p> <p>今後、SDGsの達成に向けた主な取組みをまとめた「富山県SDGs未来都市計画」に基づき、施策を着実に推進してまいります。</p>
4	<p>(P4)</p> <p>「魅力あるまちづくり・地域づくり」に、3つの新幹線駅とあるが、富山きとときと空港、伏木富山港の記載を追加したい。</p>	<p>本戦略は、北陸新幹線の延伸を見据えたものであり、ここでは3つの新幹線駅を中心とした取組みを記載しています。もちろん県の地域活性化の拠点として、空港、港湾は大変重要であり、本戦略では、「陸・海・空の交通・物流ネットワークの整備」の項目で、富山きとときと空港のネットワークの充実や利用促進、伏木富山港の機能強化について記載しています（P13）。</p>
5	<p>(P7)</p> <p>「新幹線駅周辺の整備、賑わい創出」に、美術館、コンサートホールや体育館での著名人イベント、各地域でのお祭り、各市の花火大会を追加し、月別・場所別情報を提示したい。また、富山駅そばの環水公園や高岡駅そばの高岡古城公園などへの手軽で使いやすい交通手段を検討すべき。例えば、新幹線到着時間に合わせたタクシーピストンや人力車的なものをPRし提案する。</p>	<p>「地域の魅力のブラッシュアップ」の項目で、歴史・文化などの地域資源や地域の特色を活かした賑わい創出、魅力向上について記載しています（P8）。また、「二次交通の整備・利便性向上」の項目で、新幹線駅等から県内観光地へのアクセス向上について記載しています（P16）。</p> <p>なお、具体的な取組みの提案につきましては、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
6	<p>(P7)</p> <p>「広域交通ネットワークの充実」に、バス、電車などに乗らない層に対し、タクシーやレンタカーを勧めることを記載したい。併せて、数年前に実施していたタクシー半額補助制度の復活、観光案内ができるドライバーの育成、レンタカー利用を促進するための補助制度を提案する。</p>	<p>本戦略では、公共交通の利便性向上など、新幹線駅から県内各地への移動手段としての「広域交通ネットワークの充実」を図ることとしています。いただいたご意見も参考にしつつ、各種施策の充実に努めてまいります。</p> <p>なお、県では、県外からのコンベンション参加者がタクシーを利用して県内観光をする場合に、タクシー料金が半額となる「コンベンションタクシー制度」を平成20年度より継続して実施しています（P22に記載）。また、観光客に質の高いサービスを提供できるよう、「おもてなしタクシードライバーの育成」や「観光事業者のおもてなし意識の向上」などに取り組むこととしています（P15に記載）。</p>
7	<p>(P9)</p> <p>「豊かで魅力ある中山間地域の実現」には、稲葉山の360度の眺め、有峰湖の紅葉、美女平のブナ林散策、桜ヶ池、宮島峡散策など、まだまだ多くある魅力ある場所（富山に長い方には当たり前の場所が、県外や外国人には相当魅力ある場所であること）を並べたい。とやま花の名所以外では、塩の千本桜、呉羽の梨の花、氷見あいやまガーデンが評判が良かった。花でメインになるのはチューリップだが、その他にも、月別、地域別を作成し提案したい。</p>	<p>本戦略では、中山間地域における持続可能な地域社会の形成に向けて、「豊かで魅力ある中山間地域の実現」に取り組むこととしています。いただいたご意見も参考にしつつ、各種施策の充実に努めてまいります。</p>

番号	意見の概要	県の考え方
8	(P9) 「富山のブランド力アップ」に絞って考えるプロジェクトを先ず立ち上げ、このプロジェクト参加者などから、全体プロジェクトを進める組織、中心となる人を探し出す。地域活性化事業では、組織と人の構築を考えてほしい。リーダー以外の構成員としては、販売コーディネーター、新商品開発・技術指導者、道の駅・6次化商品がわかる人物等にも参画してもらいたい。	「戦略的情報発信によるブランド力の強化」の項目に記載しているとおり（P10）、富山県の統一的なブランドイメージを確立し、効果的に県のイメージアップを推進することとしており、そのため県広報課に「ブランド戦略推進班」を新設することとしています。 事業の実施にあたっては、県内はもとより全国的に活躍されている各分野の専門家等からご意見を伺うなど、新たなブランドイメージが県民全体に広く共感を得られ、納得いただけるものとなるよう、しっかり議論しながら進めてまいります。
9	(P10) 「豊かな食の磨き上げ」では、寿司だけでなく、美味しい焼き魚、煮魚を安く手軽に食べられる場所の紹介を（なければ、どこかの店で食べられるように）してほしい。寿司も富山湾鮎の紹介だけでなく、東京と違って“天然もの”表示のない回転寿司も紹介すべき。	富山県観光サイトや「うまさ一番 富山のさかな」ホームページなどでは、魚料理が食べられる店や回転寿司なども紹介しています。今後も、本県の豊かな海の幸や郷土料理等の魅力を磨き上げ、発信する取組みを推進してまいります。
10	(P14) 「一級品の山、川、海が唯一揃う富山県」の内容、特に、川の記載がないので、「高度差4,000メートルに50キロメートルの急峻な河川が7本揃う」という特徴まで盛り込みたい。急峻な川には、太平洋側の丸々とした石が多く揃う川と違い、角も多い石が揃い、透明度の高い流れの中にある。荒らされていないことから、多くの野鳥も飛び交っており、神通川、庄川、黒部川沿いに遊歩道の整備をしてほしい。また、庄川のしゃげヤナのイベントをよりPRしたい。	「戦略策定のポイント」の「富山県の『良さ』『強み』を活かす」の中で、ご提案の趣旨を踏まえ、「豊かで美しい自然環境」について記載内容の充実を図ります（P3）。 なお、具体的な取組みの提案につきましては、今後の施策の参考にさせていただきます。
11	(P15) 「富山らしい魅力創出」のため、山、海で雨天天候時の案内施設がほしい。例えば、海中が見える公園施設の新設。また、呉羽山や富山市庁舎から展望できる施設の紹介、雨天でも見れる施設などの情報が簡単に取得できる仕掛けを構築してほしい。立山天気情報をもっと簡単に入手できるようにし、立山（室堂周辺）日帰りを勧めたい。	本戦略では、「立山黒部」「富山湾」など富山県ならではの観光資源をさらに磨き上げるなど、「富山らしい魅力創出」に取り組んでいくこととしています。いただいたご意見も参考にしつつ、各種施策の充実にも努めてまいります。
12	(P19) 「UIJ・Tターン就職の促進」には、若い女性や若い男性にとって魅力ある仕事、会社があるとよい。医療分野など富山ならではの企画・商品を持ち、他県・海外への紹介、売上実績が上がるよう県としてサポートしてほしい。	「積極的な企業誘致活動の展開」の項目で、「若者や女性の雇用につながる企業の誘致」について記載しています（P14）。また、「販路開拓、ものづくり技術の発信」の中で、県内企業の国内外への「販路開拓への支援」について記載しています（P12）。今後も、県内への移住・UIJターン促進のため、各種施策の充実にも努めてまいります。
13	(P20) 「応援人口の創出・拡大」につながるような人脈を探し出すネットワークを見直してほしい。	本戦略では、首都圏や関西圏など大都市圏との交流や継続的なつながりを持つ機会の提供により、「応援人口の創出・拡大」を図ることとしています。各地の富山県人会や同窓会（P21に記載）、「とやま大使」、「とやまファン倶楽部」、富山県出身首都圏若者ネットワーク「acoico（アコイコ）」等の人的ネットワーク（P10に記載）も活用しつつ、応援人口の創出・拡大につながる取組みを推進してまいります。
14	(P21) 「コンベンション等の誘致促進」では、会議で来るキーマンに、翌日1・3・5時間の観光コースを紹介してほしい。その際、月別、方面別にメニューを持つとよい。	「富山県の魅力を活かしたアフターコンベンション等の提案」の項目で、「富山ならではの観光資源をエクスカーションとして提案」する旨、記載しています（P22）。なお、富山県観光サイトや富山コンベンションビューローでは、地域別に、県内の代表的な観光スポット等を盛り込んだモデルコースを紹介しています。今後も、富山県ならではのエクスカーションを充実させ、コンベンションのさらなる誘致に努めてまいります。